

磯辺小学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

本校では、教育目標「力いっぱいー進んで学ぶ子、仲よく助け合う子、たくましく元気な子ー」の下、ESDのテーマ「地域とともに磯辺を見つめ、学び、考えよう」を掲げ、実践を通して、コミュニケーション能力、課題解決・追究能力、情報発信能力の育成に努めている。具体的には、総合的な学習や生活科を中心に、地域の特色を柱に、①地域と関わる活動、②地域の福祉活動、③地域の歴史と文化にふれる活動に取り組んできた。

・活動の実際

① 地域と関わる活動

「行ってきます！」2年生の大きなあいさつの声が学校に響いた。子どもたちが心待ちにしていた校区探検の日。2年生は、生活科の授業で校区内の素敵な人「すまいるさん」を探す授業を行った。中華料理店「道」で、料理人の仕事を見学した。鶏肉をさばく様子を目の当たりにし、職人のすごさを実感した。また、昼店では、お店の人にインタビューしたり、昼の作り方を体験したりした。さらにカフェ・雑貨の店では、お客さんを温かく接する心配りに気づいた。子どもたちは、多くの地域の方から、素敵なお店を見せていただき、たくさんの「すまいるさん」がいることに気づいた。

学習のまとめとして、見つけてきた「すまいるさん」について、学級ごとにまとめ、「すまいるさん」を紹介する取り組みをした。



2年 校区探検

② 地域の福祉活動

5年生の総合的な学習「福祉 ハートフル磯辺」では、豊橋市社会福祉協議会の方々の指導の下、手話教室や車椅子体験、装具を着けた高齢者体験等をした。車いすで校内にある段差や狭い通路などを通る体験をしたことで、車いすを使用している人の気持ちや、押す側の人の気持ちを、考えることができた。体験終了後に、気づいたことについてグループで話し合う際、講師の方がリードしてくださり、有意義な振り返りができた。活動を通して、子どもたちは、福祉への理解を深めることができた。

③ 地域の歴史と文化にふれる活動

1年生は、お年寄りから学ぶ昔遊びの会を行った。子どもたちは、グループに分かれて昔の遊び（けん玉、あや取り、コマ回し等）を教えていただいた。この体験の中で、話をしっかり聞いたり、遊びの楽しさを味わったり、わからないことを質問したりした。

3年生は、地域の特産物であるキャベツ作りに農家の方のアドバイスをいただきながら挑戦した。肥料、農薬、害虫など、育てるのにどのような工程や工夫があるのかを学びながら取り組んだ。

4年生は、総合的な学習で、農家の方の指導の下、稲作体験をした。6月には、学校の田んぼでしろかきや田植えをし、その後、害虫駆除などの田の世話を調べる学習を行った。秋には鎌での稲刈りも体験した。農家の方に千歯こきや脱穀機の使い方を教えていただき、昔の脱穀の体験や唐箕を使って粳を選別する体験も行った。